

# 1 佐波川右岸広域防災広場

総面積 約8ha

## (1) 整備方針

- ・ 山口県立総合医療センターが隣接することを最大限生かして広場整備を行う。
- ・ 災害時の複合的な機能を発揮し得る広場整備を行う。

- ① 【発災前後】一時避難エリア
- ② 【緊急・応急】医療支援（トリアージ）、臨時ヘリポート、広域的な輸送拠点、救助隊等キャンプエリア
- ③ 【復旧・復興】応急仮設住宅エリア

## スケジュール

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8
佐波川右岸地域への防災広場の整備	基本構想・調査・設計・測量・用地取得 ▶ 工事					供用開始予定

## (2) 整備内容

### 敷地整備

- 造成（土）、アスファルト舗装
- 地下貯留槽（浸水対策）

### 市道整備

- 2車線+歩道

### 拠点施設

- ・ 防災倉庫
- ・ 職員待機室
- ・ シャワー室
- ・ 防災行政無線・自家発電設備
- ・ 多目的室
- ・ 給湯室
- ・ トイレ

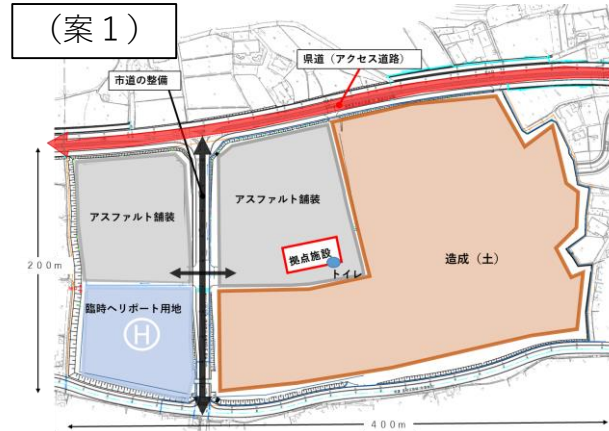
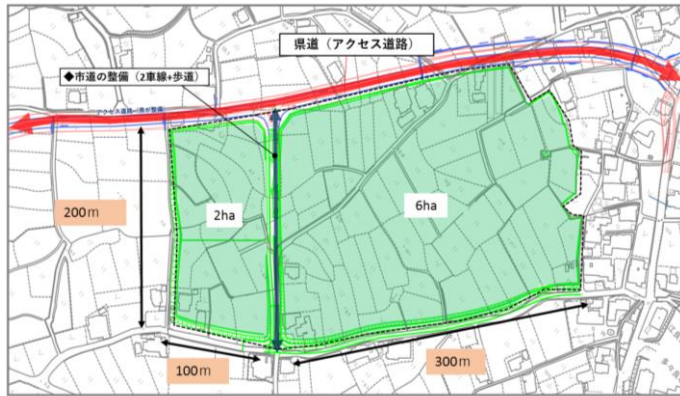
### その他施設

- ・ 屋外トイレ
- ・ 非常用便槽（マンホールトイレ）
- ・ 防災東屋

## (3) レイアウト

### 前提条件

- ・ 総面積約8haに対し、災害対応に必要なアスファルト舗装面積は約3ha（トリアージ・DMAT、物資搬出入、臨時ヘリポート用地）とする。
- ・ 総合医療センターに隣接する市道西側の2haは、トリアージやDMAT、臨時ヘリポートなど総合医療センターと連携する医療支援ゾーンとする。
- ・ 災害時には、主に県道（アクセス道路）からプッシュ型の物資搬出入等を行うため、広場北側にアスファルト舗装を行う。



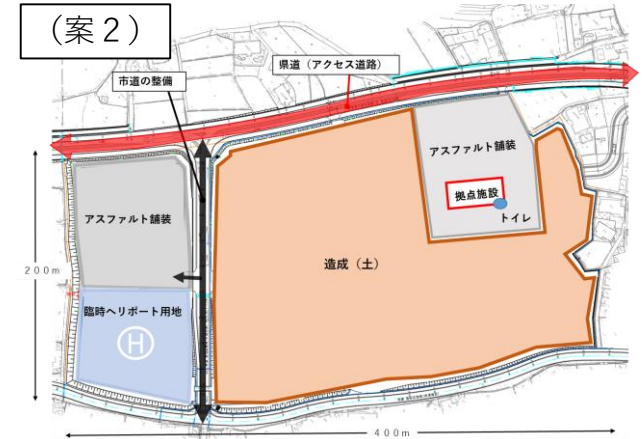
### (メリット)

- ・ 県道、市道の2面に接しており、よりアクセス性に優れている。
- ・ 医療支援ゾーンと拠点施設が隣接することで連携が図られる。

### (デメリット)

- ・ なし

評価 ◎



### (メリット)

- ・ 県道に接しており、アクセス性に優れている。

### (デメリット)

- ・ 医療支援ゾーンと拠点施設が距離が離れているので、連携が困難となる。

評価 ○

## 類似面積

キリンレモンスタジアム  
ソルトアリーナ  
野球場

